






小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

-  目標をつなぐ
 -  カリキュラムをつなぐ
 -  こどもの心をつなぐ
 -  教職員の意識をつなぐ
 -  家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度（2023年度）
No.1 ～ No.14
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

熊本市（A・Bグループ小中 69校）に広がる小中一貫校

A=中1小1・B=中1小複

令和4年度までに小中一貫校となっている中学校区

芳野中学校区 富合中学校区 江南中学校区 二岡中学校区
河内中学校区 江原中学校区 天明中学校区 **小中 18校**

研究モデル校から、令和5年度に小中一貫校へ移行した中学校区

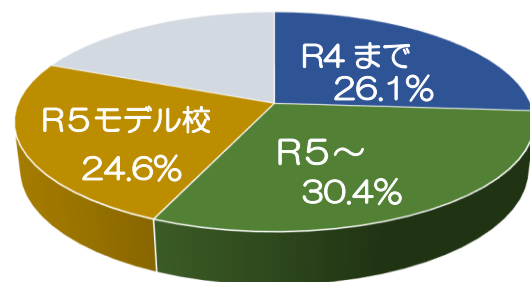
楠中学校区 植木北中学校区 城南中学校区
下益城城南中学校区 鹿南中学校区 五霊中学校区 **小中 21校**

令和5年度の研究モデル校

花陵中学校区 城西中学校区
飽田中学校区 力合中学校区
日吉中学校区 **小中 17校**

令和7年度には、A・Bグループすべての中学校区が小中一貫校へ移行する予定です。

A・Bグループで小中一貫校及びモデル校の小・中学校の割合



令和5年4月現在

～R5つなぐNo.1より

6月の「幼小中連携の日」に向けたモデル校の動き

すでに中学校区校長会等を開催し、小中一貫教育の方針等が話し合われ、6月の「幼小中連携の日」に向けて動き始めたモデル校の取組を紹介します。

日吉中学校区（日吉小、日吉東小、日吉中）

- 4月21日（金）校区校長会・・・昨年度の取組と今年度の方針を確認
- 5月16日（火）校区校長・園長会・・・幼保小中の連携の方針を確認
- 6月 1日（木）モデル校小中全体会・・・モデル校の今後の取組を確認
- 6月 9日（金）幼小中連携の日・・・成長のものさし（連携）部会と一貫カリキュラム部会を設定

城西中学校区（小島小、中島小、城西中）

- 4月24日（月）小中一貫推進委員会（校長、教務）・・・今年度の見通し
- 5月10日（水）各部会（オンライン）・・・連携カリキュラムを見直し
- 5月23日（火）までに各部原案を提出→各部の原案を連携カリキュラムへ
- 5月29日（月）事前に連携カリキュラムを全職員へ配付
- 6月 9日（金）幼小中連携の日・・・連携カリキュラム検討、全体会で共有

飽田中学校区（飽田東小、飽田南小、飽田西小、飽田中）

- 4月27日（木）校区校長会・・・年間活動計画(案)をもとに今年度の確認
- 5月 8日（月）幼・保・小・中学校連携協議会幹事会
・・・規約、テーマ、活動計画、研修会について検討
（小中一貫カリキュラム部会（算数・数学、道徳）は、事前に検討会を開催）
- 6月9日（金）幼小中連携の日・・・授業参観、総会、取組発表、各部会

今年度の「幼小中連携」と「小中一貫教育」の見通しを確認！ ～持続可能な取組として～

今年度、小中一貫教育モデル校の花陵中校区では、5月17日（水）校区校長会が開かれ、6月の「幼小中連携の日」の前に、今年度の「幼小中連携」と「小中一貫教育」の見通しを確認されました。

これまでの教育活動を生かし、保護者に啓発しながら、持続可能な小中一貫教育を実践される予定です。

花陵中学校区（古町小、春日小、白坪小、花陵中）

6/9（金）第1回幼小中連携の日

カリキュラム部会にて、小中一貫で取り組む道德の重点内容項目をもとに検討する。

11/（期日未定）第2回幼小中連携の日 ← 11/29（水）を前倒しして実施

各小中学校で、共通の重点内容項目の道德の指導案を作成し、情報交換を行う。

11/11（土）花陵中学校 **「親子道德の日」**

12/5（火）古町小学校 **「親子道德の日」**

12/8（金）春日小学校・白坪小学校

「親子道德の日」

各学校の**「親子道德の日」**を活用し、共通の重点内容項目で道德の授業を公開し、小中一貫教育の取組を保護者に啓発する。

3学期……春日小、古町小、白坪小の6年生の児童が、白坪小体育館で交流会を行い、仲良くなった後、一緒に花陵中学校へ登校し、中学校での体験入学に参加する。

園、学校、家庭、地域がつながる「幼小中連携の日」 ～「地域部会」を取り入れた飽田中学校区～

6月9日（金）、各中学校区で「幼小中連携の日」が開催されました。

飽田中学校区（熊本藤富保育園、飽田東保育園、モロナイ保育園、ゆたか幼稚園、畠口みのり保育園、リリー保育園、飽田東小学校、飽田南小学校、飽田西小学校、飽田中学校）では、園・学校の先生方だけでなく、PTA・地域の方々（55名）も参加されました。会場は飽田東小学校で、まず、授業参観が行われた後、体育館で全体会が開催されました。

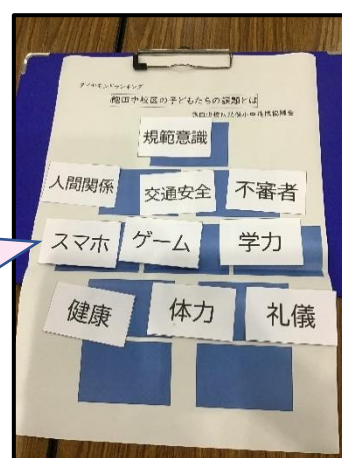
全体会では、飽田西小学校、飽田南小学校、ゆたか幼稚園から、今年度のテーマである「あいさつ」、「規範意識～きまりを守る」、「確かな学力～学びの基礎」に基づいた実践報告がありました。

その後、各部会（地域部会、生徒指導部会、道徳部会、算数・数学部会、中一ギャップ部会、小一プロブレム部会）が行われました。

PTA・地域の方々は、「地域部会」に参加され、校区のこどもたちの課題と、課題解決のために、家庭で、地域で、学校・園でできることを話し合われました。

地域部会で、課題の一つにあげられた「規範意識」は、今年度のテーマであると同時に、道徳部会で取り組む重点内容項目でもあります。まさに、園、学校、家庭、地域がつながる幼小中連携、小中一貫教育と言えます。

「地域部会」では、グループごとに、「ダイヤモンドランキング」で、校区のこどもたちの課題について話し合われました。



～R5 つなぐ No.4 より

小中合同の「引き渡し訓練」が行われました！

モデル校を経て、今年度より小中一貫校となった植木北中学校区（吉松小、田底小、植木北中）では、6月3日（土）、小中で同一日に「引き渡し訓練」が行われました。

昨年度の2月に、①小中連携引き渡しのねらいの明確化、②連携引き渡しマニュアルの作成、③引き渡しカードの作成が行われ、3校の校長で確認された後、4月に実施計画案が作成され、6月3日、各小中学校の土曜授業日に実施されました。なお、7月3日（月）の大雨の際には、実際に引き渡しが行われ、訓練の成果が見られたということです。

「植木北中学校区 小中連携緊急時児童生徒引き渡し訓練（基本方針）」より一部抜粋

○ 目的（ねらい）

地震や豪雨土砂災害などの災害時に、安全・確実に児童生徒を学校から家庭に引き渡すために、小中一貫型小学校・中学校として、「小中共通の引き渡しカード」の作成、ならびに利用方法、連絡体制、具体的引き渡し方法等について確認し、実践的な訓練を行うことを目的とする。

○ 訓練についての周知方法

訓練の実施については、保護者向けに事前に文書で周知し、訓練実施時には、当日の引き渡し時刻等を踏まえ、文面をあらかじめ作成しておいた安心安全メール（※文面は小中共通）にて周知する。

○ 引き渡し方法

- ・原則として「小学校→中学校」の順序で、児童生徒の引き渡し（保護者迎え）を行う。
- ・小学校・中学校双方に子どもがいる保護者からの迎えの遅れ等の連絡は小学校に行い、連絡を受けた小学校がその情報を中学校に伝えることとする。
- ・訓練当日を含め、保護者等からの連絡については、各学校の教頭が集約し、校長と共有し、その上でさらに三校の校長はその情報をもとに各種の対応について協議する。

生徒氏名・兄弟姉妹・引き取り者氏名・連絡先・生徒との関係・待機希望欄を記入ください。

() 学校引き渡しカード（学校保管）

住所	本人を含む兄弟姉妹（学年が上の順から記載） 本校(園)に通ってらっしゃるお子様のお名前前にマーカーで印をおつけください。			
熊本市北区植木町	幼・保・小・中	年	氏名 ()	
	幼・保・小・中	年	氏名 ()	
地区名 ()	幼・保・小・中	年	氏名 ()	
	幼・保・小・中	年	氏名 ()	
番号	引き取り者氏名	連絡先 (②は、ある場合のみ記載)	生徒との関係	引渡し時刻 (引継ぎ者サイン)
1		電話番号① ②		/ : / : () ()
2		電話番号① ②		/ : / : () ()

小中共通の引き渡しカードには、幼・保・小・中の本人を含む兄弟姉妹の氏名を記入するようになっています。

植木北中（全校生徒132人）には、吉松小に28人、田底小に14人の弟や妹がいます。

（全校生徒における割合 31.8%）

～R5 つなぐ No.5 より

夏休み、各モデル校で行われた保育園・幼稚園参観

モデル校では、幼小中連携の取組の一つとして、夏休み中に小中学校の先生方が、各中学校区内の保育園・幼稚園を参観され、幼児教育について理解を深められました。

○城西中学校区（小島小、中島小、城西中）→小島保育園、かおるこども園

○飽田中学校区（飽田東小、飽田南小、飽田西小、飽田中）→畠口みのり保育園、ゆたか幼稚園

○日吉中学校区（日吉小、日吉東小、日吉中）→日吉保育園、ルンビニー幼稚園、スマイル保育園、旭保育園、愛保育園、院内保育園はあとランド

保育園・幼稚園を参観された小中学校の先生方からの様々な気づきや感想です。

- こうして小さいころから先生方に温かく見守られ大きく成長してきたこどもさんたちが、小学校に入学してくるのが楽しみです、私たちもまたこどもたちの成長をしっかり支えていかなければと思いました。
- 「保育」でありながらも「教育」への足がかりとなっているものばかりでした。
- 小学校に入学してくるこどもたちの入学前の姿・様子を実際に見ることができ、連携という面で、このこどもたちの様子を踏まえて小学校で教育活動をしていくことが大切だなと感じました。
- こどもたち一人一人を大切にされている様子が見られ、小学校でも、もっとこどもたちに寄り添った活動ができればなと反省させられました。

小中合同の校内研修が行われました！

2学期の取組に向けて

モデル校の花陵中学校区（古町小、春日小、白坪小、花陵中）では、9月11日（月）、古町小学校で行われた校内研修に、花陵中の先生方（4名）も参加され、小中合同研修会が行われました。

講話 「道德の授業づくり」

講師 愛知教育大学
教職大学院教授

【認識の変容を促す道德授業づくりのポイント】

- ① その教材ならではの「ねらい」を設定する。
- ② 教材に興味を持たせる(問題意識を高める)。
- ③ 思考を刺激する発問を工夫する。
- ④ 身近な問題として意識づける。

「ちょっと気になる題名『人の気持ちがわかる人、わからない人』という本を発見しました。

この題名を見て、どんな発問が考えられますか？」

小学校の先生と中学校の先生が一緒になって、たくさんの発問を考えました。



今回の合同研修が2学期の取組につながります！

○ 花陵中学校区「幼小中連携の日」 10月31日（火）

- ・親子道德の略案等を持ち寄り、どのような授業をするかの情報交換をする。
- ・小学1年生～6年生の6部会に分かれる。花陵中の先生方は、6部会のいずれかに入る。

○ 小中一貫カリキュラムに基づく「親子道德の日」

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・花陵中学校 11月11日（土） | ・古町小学校 12月5日（火） |
| ・春日小学校 12月8日（金） | ・白坪小学校 12月8日（金） |

～R5つなぐNo.7より

特別支援学級、小中合同交流会が行われました！

モデル校の日吉中学校区で、11月2日（木）、日吉中学校を会場として、特別支援学級の小中合同交流会が開かれました。日吉小（19人）、日吉東小（20人）、日吉中（8人）のこどもたちが参加し、芋ほりやレクリエーションを通して、一緒に活動し交流を深めることができました。

日吉中学校区（日吉小、日吉東小、日吉中）小中合同交流会の流れ

1 まずは、武道場にてオリエンテーション

中学生の司会進行で、「はじめの言葉」、「芋ほりの準備」について説明がありました。

2 グループごとに畑に移動

8つのグループに分かれて、グループ番号のプラカードを持った中学生が先頭に立ち、学校敷地内の芋畑まで小学生を連れて行ってくれました。

3 芋ほりで交流

小学生と中学生が一緒になって協力しながら、たくさんの芋を掘り出しました。しかし、深く掘り出しにくい大きな芋は、中学生が小学生を手伝って掘り出してくれました。一輪車に3台分の収穫があり、作業後、みんな並んで記念撮影もしました。

4 再び武道場に戻り、レクリエーションで交流

まず初めに、学校ごとにみんなの前に出て、一人一人自己紹介をしました。次に、先ほどの芋ほりのグループ対抗で、伝言ゲームやジェスチャーゲームをして交流を深め、さらに仲良くなりました。最後に中学生より、「今日は楽しかったですか？ 3学期にまた会いましょう。」とあいさつがありました。

5 終了後の見送り

2時間ほどの交流会が終わり、小学生はそれぞれの小学校へ徒歩で帰ります。自分たちが収穫した芋を、一人1個ずつ受け取り、さらに中学生が作った手作りのプレゼントもお土産にもらいました。中学生は校門まで出て、手を振って仲良くなった小学生を見送りました。

各モデル校で校区の実態に応じた 「幼小中連携の日」が行われています！

10月27日(金) 飽田中学校区 (飽田東小、飽田南小、飽田西小、飽田中)

～地域の方々(46人)も参加された幼小中連携の日～ 会場：飽田西小学校

1 公開授業

飽田中学校区の小中一貫カリキュラムの柱である「算数・数学」、「道徳」を中心に公開授業が行われました。校区内の小中学校の先生と地域の方々も参観され、学校と地域がつながる幼小中連携の日となりました。

2 全体研修

サポートクリエイター・公認心理士による講話で「社会の中で笑って生きる」という演題で、特別支援教育の視点で研修が行われました。一斉指導の中での工夫の具体例として、①板書の仕方・立体的に、矢印の活用、②プリントの配付の仕方・1枚を3分割して量を少なくする、③忘れ物をする子への対応・イラストを活用、④ワークシートの作成の仕方・ユニバーサルデザインで、⑤コミュニケーションサポートの仕方・具体的なセリフを教える等について説明がありました。共通の研修を受けた先生方が各学校で実践されます。

10月31日(火) 花陵中学校区 (古町小、春日小、白坪小、花陵中)

～「親子道徳の日」につながる幼小中連携の日～ 会場：花陵中学校

1 全体研修

指導課、主任主事による講話で、「小中一貫教育が求められる背景・理由」、「幼小中連携カリキュラムと小中一貫カリキュラムの違い」、「花陵中校区の取組について」等が確認され、小中一貫教育に関する基本的な考え方を共通理解しました。

2 道徳授業内容報告・情報交換会

花陵中学校区は「親子道徳の日」を共通の重点項目で取り組まれます。そこで「他校の授業内容を知り、教材・教具・学習シート等の工夫、授業に有効なアプリなどの情報を交換することにより、今後のよりよい道徳の授業づくりにつなげる。」という目的で、小1部会～小6部会のすべての部会に中学校1年～3年の先生方も参加されました。各学校の「親子道徳の日」に行われる道徳の授業内容の報告とともに、中学校の道徳の授業内容も報告されることにより、小学校の道徳が中学校にどのようにつながっていくのかを考える機会となりました。

モデル校の力合中学校区（カ合小、カ合西小、カ合中）では、
「ユニセフ出前授業」を小中で共通実施！

「こどもの人権を大切にするにはどうしたらよいか」

力合中学校区は、小中一貫カリキュラムの柱を、人権学習と道徳として取り組まれています。そこで、国連事務総長特別顧問を講師としてお招きして、11月28日（火）午前中はカ合西小学校6年生（116人）、午後はカ合小学校6年生（88人）、29日（水）午前中、カ合中学校1年生（224人）に、「ユニセフ出前授業」を共通実施されました。

授業の前半は、講師の先生より世界の子どもたちの人権の現状について説明がありました。普段聞くことができない国連の活動を通しての講話に、各学校の児童・生徒は、真剣に聞き入っていました。

後半はグループごとに分かれてワークショップを行いました。ワークショップの内容は「子どもの権利条約」の中から

- ① 最も大切だと思う権利とその理由
 - ② 守られていないと思う権利とその理由
 - ③ 人権を大切にするにはどうしたらよいか
- について考え、まとめるというものでした。

全体発表でたくさんの意見を聞きながら人権に関する考えを深めていきました。

最後に講師の先生より「自分自身を大切にすること」という言葉をいただきました。

小中で共通実施した今回の貴重な経験が、力合中学校区の人権学習の充実につながることを期待されます。

◦ 差別・いじめをなくす

↳ 相手を思いやり
意見の尊重

◦ 個性の尊重

↳ お互いを認めあう

③についてグループでまとめた意見（カ合中）

小中一貫校の鹿南中学校校区で、

鹿南中から田原小 6 年生へ「乗り入れ授業」を実施！

鹿南中の美術の先生が、田原小 6 年生へ「図工」の授業を

1 月 22 日（月）、6 校時、田原小で鹿南中の美術担当の先生が、6 年生の図工「時空をこえて」の単元の導入で、「水彩画の技法をマスターしよう！」という授業を実施されました。

こどもたちは、基本的な説明を受けた後、実際にいろいろな技法を使って絵の具で描いていきました。

すると、こどもたちから「めっちゃ、きれい！」、「できた！」、「楽しくなってきた！」などの声があがり教室中に響いていました。

今日の「図工」の授業が、中学校の「美術」の授業につながります。

鹿南中の音楽の先生が、田原小 6 年生へ「音楽」の授業を

2 月 19 日（月）、5 校時、田原小で鹿南中の音楽担当の先生が、6 年生のこどもたちに、小学校の卒業式で歌う「旅立ちの日に」の歌唱指導をされました。

音楽室に入った中学校の先生に、すぐにかけ寄り自己紹介するこどもたち。体の動きを取り入れた発声練習の後、先生からは、合唱するときの立ち方や声の出し方などを教えていただき、和やかな雰囲気の中でパート練習から合唱へと進んでいきました。

今日の授業が小学校の卒業式につながり、その後、こどもたちは鹿南中へ入学していきます。

小中一貫校の河内中学校区、富合中学校区では、

小学生と中学生の「異学年交流」を実施！

河内小 6 年生が河内中 1 年生と道徳科の合同授業を体験

2月8日(木)、河内中学校で、体験入学の一つとして、「小中合同道徳科授業」が行われました。

中学 1 年生の教科書にある「バスと赤ちゃん」という教材で、「社会の中の思いやり」を様々な立場で考えました。中学生 5 人が授業者の教頭先生をサポートし、グループ活動ではファシリテーター役の生徒 6 人が、小学生の意見を引き出すなど、中学生のリーダーシップが発揮されました。本時の主題のとおり、互いの意見を認め合う「思いやり」のある雰囲気の中で授業が進められました。小中の子どもたちのつながりが深まるとともに、道徳科のカリキュラムのつながりも見られた取組となりました。

富合小の総合学習発表会に富合中 1・2 年生も参加

富合中学校区は、総合的な学習の時間を小中一貫カリキュラムの柱とし、小中で地域学習「とみあい学習」を共通実践されています。そこでこれまで学習してきたことを 2 月 20 日(火) アスパル富合ホールで小学校 5・6 年生、中学校 1・2 年生が発表しました。保護者や地域の方も参観され、まさに学校、児童生徒、保護者、地域がつながる発表会となりました。小学生の子どもたちも、中学生の発表をお手本に、今後の学習に意欲を高めました。

長嶺中学校区（長嶺小、託麻南小、長嶺中）では、

新学期に向けて**幼保と小、小と中**の交流授業が行われました！

中
学
校



小
学
校



幼
稚
園
・
保
育
園

長嶺中2年生が長嶺小・託麻南小6年生と交流授業

3月12日（火）、長嶺中2年生の代表の生徒が、自分の出身小学校である長嶺小と託麻南小へ出向き、中学校の生活を紹介する交流授業を行いました。中学生は2～3人のグループで、6年生の各学級を順番に回りながら、クイズなどを取り入れて中学校の行事、小学校と中学校の違い、「中学校あるある」などを楽しく紹介しました。

授業後の小学生の感想には、「中学生になるのは不安だったけど、いろいろなことを教えてもらって中学校に行くのが楽しみになりました。」とありました。

さくら幼稚園の園児が託麻南小1年生と交流授業

3月4日（月）さくら幼稚園の園児100人ほどが、託麻南小の1年生の教室を訪問しました。各教室に入り、最初にお互いにあいさつをした後、園児たちは、実際に1年生の椅子に座らせてもらいました。その後、1年生の児童たちは、自分たちで作った紙芝居で小学校の紹介をしたり、実際にランドセルや教科書、タブレット、算数セットなどの使い方を教えたりしました。各教室には、園児に寄り添いながら優しく教える児童の姿がたくさん見られました。

園の先生によると園児たちは、教室の黒板の大きさにびっくりし、「また行きたい。」と言っていたそうです。

R5年度 モデル校の報告書 が提出されました！

小中一貫教育研究モデル校実践報告書「実践内容」より一部抜粋

花陵中学校区（古町小、春日小、白坪小、花陵中）

- 3年ぶりに会場校での公開授業を開催し、日頃の春日小の授業の様子を参観してもらうことができた。今回は校区の幼稚園・保育園からも参観いただいた。
- 既存の幼小中連携の日の取組を生かしたことで、大きな負担を感じることはなかった。また中学校区の課題解決に向けて取り組んだことで、校区内の小中学校の一体感が感じられるようになった。
- 各小中学校が同じテーマの基に道徳の授業研究を進めたことで、教材研究がより深まった。また、中学校の授業を具体的に知ることができ、中学校段階を見通した授業づくりを行うこともできた。
- 親子道徳授業内容報告及び道徳授業スキルの情報交換会では、親子道徳の授業内容を互いに共有することで、道徳教育の小学校同士の横のつながりや、小学校と中学校の縦のつながりを知ることができた。
- 小中一貫カリキュラムを作成することで、道徳において共通して取り組む内容項目、題材について共通理解を図り、学習活動を進めることができた。

城西中学校区（小島小、中島小、城西中）

- 幼小中連携の一環として校区の幼稚園・保育園を訪問・参観し、幼児教育への理解を深めた。また、それぞれの園・学校においてさらに幼小中連携カリキュラムを意識した教育実践につなげた。
- 小・中相互の学習や取組につながりを持たせるため、相互の学習目標や学習内容、その手法や手段についての共有を図るための意見交換会を行った。
- 小・中3校で、11月6日(月)から12日(日)の1週間、同じ内容の健康リズムチェックを行った。その結果を受けて、保健委員会が児童集会で生活リズム改善についての呼びかけを行った。また、課題であるメディアとの付き合い方について、学校保健委員会を開き、保護者への啓発も行った。
- 共通実践事項の「挨拶」への取組として、委員会活動を中心にあいさつ運動に取り組んだ。
- 中学校の文化発表会をDVDにまとめ、校区の小学校へ配布した。小中が一貫した学習を行っていることを児童へ伝えることができた。

飽田中学校区（飽田東小、飽田南小、飽田西小、飽田中）

- 飽田中校区幼保小中連携協議会テーマのもと、飽田中校区が地域を含めて一体となって取組を進めた。各学校では各部会（地域、生徒指導、道徳、算数・数学、中1ギャップ、小1プロブレムの6部会）を中心に取組んだ。
- 第1回研修会(6/9 飽田東小)授業参観。実践発表と各部会に分かれて協議を行った。
- 地域部会では、地域の方々と「規範意識」「交通安全」「学力」「健康」など校区のこどもの課題について、現状と解決策について話し合った。
- 各学期に計算（算数）大会を校区全体で実施した。次年度は全学年の問題を持ち寄って取り組む予定。
- 10月に小中一貫カリキュラムに基づいた公開授業を全学年で行った。飽田中校区の教職員や地域の方々にも見ていただいたことで、本校の実践を広く知っていただき、共に取り組むための提案にもつなげることができた。
- 小中学校の教職員が、幼稚園と保育園の授業・保育参観をすることで、小一プロブレムの解消に向け、教職員の意識を改善することができた。

力合中学校区（力合小、力合西小、力合中）

- 校区で高めたい道徳の内容項目として、「思いやり・感謝」に焦点を絞って一貫カリキュラムを作成し実践した。本校では12月に「道徳の日」を設け、保護者への道徳の公開授業を全学級で行い、校区で同じ内容項目を中心に児童の育成をしていることを啓発した。
- 人権学習について小中で検討し合い、一貫カリキュラムを作成することで、内容の漏れがない、9年間を見通した効率の良い人権学習の実施につながっている。
- 道徳や人権学習では、以前の学習内容と結び付けて授業を進めることができ、効果的であった。
- 子どもの権利条約についてのユニセフ出前授業を幼小中連携の一貫として行った。同じ内容で3校とも実施したことで連携が深まった。
- 遅刻する児童が減った。また、朝の始業開始に着席していることでゆとりをもって朝の時間を迎えられている。小中が共通の目標を立て、同じ指導をすることで効果を期待できるということが分かった。

日吉中学校区（日吉小、日吉東小、日吉中）

- 小中一貫教育研究モデル校となり、小中一貫カリキュラムを作成するために前年度までの取組を整理しながら、計画的に進めることができた。
- 6月に行った幼保小中連携の全体会では、「自他を思いやる豊かな心部会」「特別支援部会」「日吉の成長ものさし部会」の3つの部会を編成し、カリキュラムの見直し、作成を行なった。
- 「自他を思いやる豊かな心部会」、「特別支援部会」ではカリキュラムが完成し、3学期は可能な範囲で実践を行いつつある。
- 「日吉の成長ものさし部会」では、幼児期から中学校までの成長の姿を「日吉の成長ものさし」として一覧にし、保護者、地域、新1年生家庭に配布して共有している。
- 来年度は、各学校がカリキュラムや「日吉の成長ものさし」を意識した共通実践を行い、適宜見直しを行いながら進めていくことを日吉中校区で共通理解している。

～R5 つなぐ No.14 より